

吉田クラブだより

7年ぶり6度目の優勝ー県高校新人大会

12月5・6・7日に長野市で行われた県高校新人大会で、現役は準決勝の松商戦で前半シュートが決まらず苦戦したが、それ以外はすべて90点台の高得点をマークして見事優勝した。

今後更に強化に励みインターハイに出場して、クラブ創立50周年に華を添えて欲しい。

1回戦	長野吉田高校	90 - 60	岡谷南高校
2回戦	長野吉田高校	118 - 56	松本深志高校
3回戦	長野吉田高校	99 - 44	野沢北高校
準決勝	長野吉田高校	81 - 69	松商学園高校
決勝	長野吉田高校	96 - 60	佐久長聖高校

福沢コーチの話

相変わらず小柄なチームだが、今年の選手は1:1の能力が高いので希望が持てる。オフェンス面では大型チームと対戦した時のハンディを補うため2:2・3:3のコンビネーションプレーをしっかりとやり、外からのシュートに磨きを掛けたい。またディフェンス面では今以上に前へ出てプレッシャーをかけて、1日に2~3試合頑張れる脚力を付け、常に80点以上とれるチームにして是非インターハイに出場したいと力強く話してくれました。

クラブチームは第4位ー県総合選手権大会

県総合選手権大会は11月8・9・16日に上田市で行われた。吉田クラブは準決勝で優勝したスタリオンズと対戦して敗れ第4位に甘んじた。今後1月に行われるクラブ選手権大会、4月の国体予選には是非勝ってクラブ創立50周年の節目を飾って欲しい。

2回戦	吉田クラブ	106 - 36	辰野クラブ
3回戦	吉田クラブ	56 - 40	上田クラブ
4回戦	吉田クラブ	80 - 49	佐久エリクソンズ
準決勝	吉田クラブ	49 - 62	スタリオンズ
3位決定戦	吉田クラブ	67 - 69	セイコーエプソン

清水監督 談

吉田クラブの選手は個々の能力は非常に高く、どのチームと比べても遜色が無い。しかし勤務の関係で全員がまとまって練習出来ず、チームとしてのコンビネーション

プレーが出来ない。このため準決勝以上の強い相手と対戦する時にチームとして攻撃出来ず、接戦はするが勝てないのがいつものパターンになってしまった。来年度はしっかりチームプレーを練習して創立50周年にふさわしい成績を残すように頑張りたい。

平成9年度吉田クラブ役員名簿

会 長	米沢 弘行				
副 会 長	戸津 幸雄	戸谷 章	小林 和夫		
幹 事 長	太田 哲男				
副幹事長	山岸 宣明	中沢 豊和	白谷 秀明	小池 千秋	
幹 事	△川合 由夫	清水 信行	○広田 信一	○大屋 康秀	
	○岡田 博文	○伊藤 幸広	○小松 彰	○高池 一昭	
	△宮崎 隆英	○塚田 壮一	×藤原 昭	○鈴木 昌	
	△竹内 健一	○藤原 伸之	○小野塚隆康	○松本 敦史	
	○吉沢慎一郎	○大内 一志	○寺原 隆		
監 事	大沢 卓樹	丸山 利男			

吉田クラブ創立50周年記念誌の発行について

8月に行われたクラブ総会において、本年度はクラブ創立50周年記念誌を発行することが決議されました。

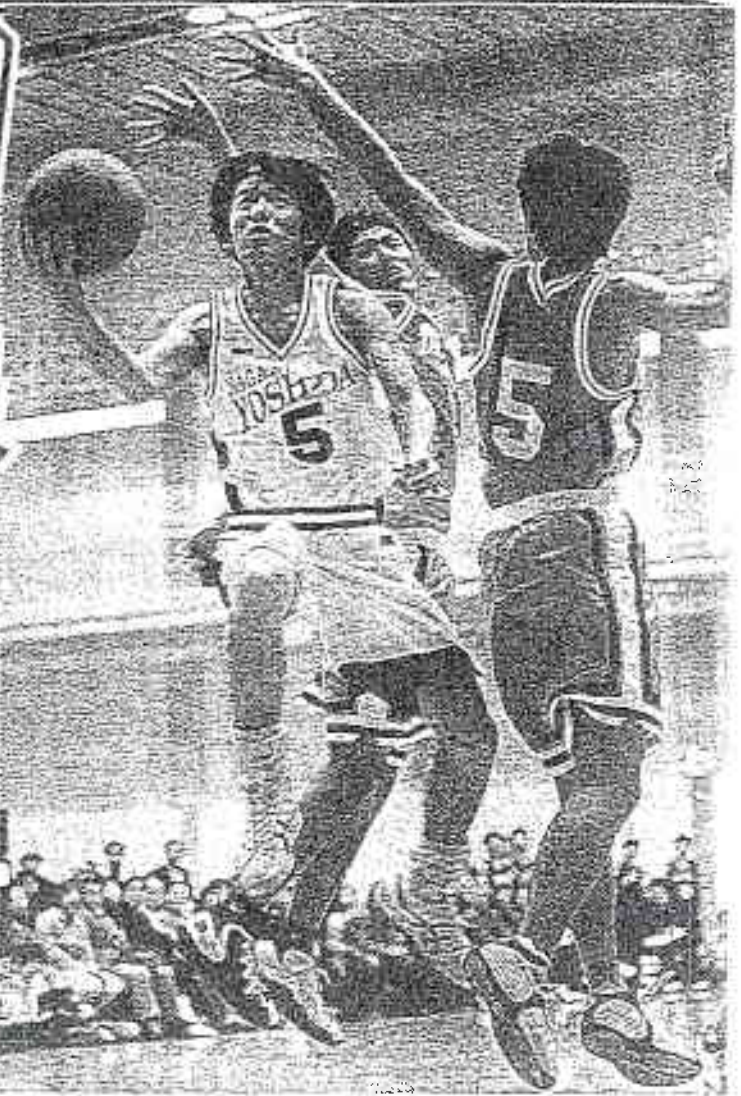
内容は400名にもなる会員名簿、顧問先生方の手記、会員の思い出の手記、クラブ50年の歩み、思い出の写真集等を載せて来年6月頃の発行を予定しています。今後役員が住所不明の会員の消息を訪ねたり、原稿の依頼、古い写真の提供等のお願いに上がりましたら、よろしく御協力下さるようお願い申し上げます。

なお、記念誌発行にはかなりの経費が必要になります。今回お願いしました会費の納入には、格段のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

そして皆様にご記入いただく振替用紙の住所氏名は、名簿作成の基礎資料にさせていただきますので、電話番号等も正確にご記入下さるようお願い申し上げます。

の点差猛反撃 高崎商に69-65

長野古田 残り2分 逆転1勝



【山形】山形県立高崎商業高校(高崎)と山形県立古田高等学校(古田)の県大会男子バスケットボール決勝戦が22日、山形県立総合体育館で行われ、古田が残り2分、逆転で1勝を挙げた。

高崎は前半、古田のディフェンスに苦しめられ、前半終了時点で15-25と大差を付けられた。後半は古田のディフェンスがさらに厳しくなり、高崎は残り5分、15-35と大差を付けられた。残り2分、高崎は逆転を企てるが、古田のディフェンスが厳しく、逆転は失敗した。最終スコアは古田が65、高崎が69だった。

古田の逆転劇 残り2分、逆転1勝

山形県立古田高等学校 古田 古田

古田は前半、高崎のディフェンスに苦しめられ、前半終了時点で15-25と大差を付けられた。後半は古田のディフェンスがさらに厳しくなり、高崎は残り5分、15-35と大差を付けられた。残り2分、高崎は逆転を企てるが、古田のディフェンスが厳しく、逆転は失敗した。最終スコアは古田が65、高崎が69だった。

高崎は前半、古田のディフェンスに苦しめられ、前半終了時点で15-25と大差を付けられた。後半は古田のディフェンスがさらに厳しくなり、高崎は残り5分、15-35と大差を付けられた。残り2分、高崎は逆転を企てるが、古田のディフェンスが厳しく、逆転は失敗した。最終スコアは古田が65、高崎が69だった。

古田は前半、高崎のディフェンスに苦しめられ、前半終了時点で15-25と大差を付けられた。後半は古田のディフェンスがさらに厳しくなり、高崎は残り5分、15-35と大差を付けられた。残り2分、高崎は逆転を企てるが、古田のディフェンスが厳しく、逆転は失敗した。最終スコアは古田が65、高崎が69だった。

山形県立古田高等学校(古田)の古田(5)が、山形県立高崎商業高校(高崎)の古田(5)と対戦する。古田は残り2分、逆転で1勝を挙げた。

吉田クラブだより

現役の活躍に感謝、そして皆様のご支援に感謝

余寒厳しき折、クラブの皆様にはますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。昨年末現役の全国高校選抜優勝大会への出場に際しまして、ご芳志をお願いしましたところ沢山の皆様より格段のご支援を頂き誠に有難うございました。お陰様で現役は、皆様の温かいご支援により新調したユニフォームを着用し、1回戦で高崎商業高校に逆転勝ちしてクラブ50周年に華を添えてくれました。

また、県高校新人大会では2年連続優勝し、1月末に行われた北信越高校新人大会では3位に入賞する快挙をあげてくれました。新チームも久しぶりのインターハイ出場を目指して、更に頑張っただけと欲しいと思います。しかし県内のライバルチームも「打倒吉田」を目標に強化に励んでいますので、クラブ員の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

全国高校選抜優勝大会出場、OBに感謝

顧問 広田 信一

全国選抜大会出場に際しまして、OBの皆様から心あたたまるご寄付を頂き誠に有難うございました。素晴らしいユニフォームを新調していただき選手たちも、OBの皆様に対して心から感謝の気持ちを持ち、有難さを感じたと思います。また、東京体育館へは在京OB会の高見澤会長様や同窓会東京支部の竹田支部長様を筆頭に、沢山のOBの皆様が応援に来ていただき感激しました。お陰様で1回戦の高崎商業戦を得意の逆転劇で突破し、2回戦進出という成績を残すことができました。

また、新人チームも県高校新人大会において優勝し、北信越高校新人大会でも3位という立派な成績を残すことができました。これも偏にOBの皆様のおかげがあったからこそと、顧問として心から感謝申し上げます。

さて、私自身OBとして初の母校の指導者となり、今年度よりチームの指揮をとることになった訳ですが、前顧問から引継ぎ、年度当初は戸惑いや不安を感じましたが、現在は私自身が大学、指導歴の中で学んできたバスケット理論を精一杯に生徒にぶつけ指導しております。今年度の試合はすべて終わりましたが、1年を振り返ってみると良い年であったと思っております。新年度におきましても更に努力する所存でございます。今後ともご指導・ご鞭撻・ご支援をいただけますようお願い申し上げます。

『今年度現役の主な戦績』

- ★ インターハイ県予選 <準優勝> (6/5~7) 松本市
 - 準決勝 長野吉田 77 - 73 松商学園
 - 決勝 長野吉田 69 - 77 東海大三
- ★ 北信越大会 <ベスト8> (6/20・21) 福井市
 - 長野吉田 85 - 69 金沢高校
 - 長野吉田 66 - 79 北陸高校
- ★ 堀内杯 <優勝> (8/8・9) 北志賀
 - 長野吉田 87 - 71 津工業(三重)
 - 長野吉田 97 - 65 前橋商業(群馬)
 - 長野吉田 102 - 73 京都一条

★ 全国選抜県予選	<優勝>	(10/3・4)	長野市
準々決勝	長野吉田	98 - 72	松商学園
準決勝	長野吉田	66 - 65	東海大三
決勝	長野吉田	71 - 70	佐久長聖
★ 県新人大会	<優勝>	(12/4~6)	上田市
準決勝	長野吉田	90 - 88	松商学園
決勝	長野吉田	83 - 77	東海大三
★ 全国高校選抜大会	(12/22~27)	東京都	
1回戦	長野吉田	69 - 65	高崎商業
2回戦	長野吉田	66 - 99	東海大四 (北海道)
★ 中村杯	<準優勝>	(12/27~29)	鹿教湯
	長野吉田	73 - 65	東海大三
	長野吉田	90 - 69	山梨日川
	長野吉田	63 - 101	前橋商業
★ 選抜優勝長野大会	<4位>	(1/4~6)	松本市
	長野吉田	74 - 91	東海大三
	長野吉田	76 - 98	松商学園
	長野吉田	82 - 79	大商学園 (大阪)
★ 北信越新人大会	<3位>	(1/29~31)	松本市
	長野吉田	90 - 80	金沢市立工業
	長野吉田	90 - 82	高岡工業 (高山)
	長野吉田	69 - 63	高岡商業 (高山)
	長野吉田	63 - 110	新潟商業

現役快勝の活躍に感動

在京OB会会長 高見澤 國雄

第29回全国高校選抜優勝大会に8年ぶりで出場した吉田高校バスケットボール部は、東京近郊OB並びに同窓会東京支部の人々に、郷愁と共に大きな喜びの感動を与えてくれました。以前戸隠分校野球部が全国大会出場のため上京した際に、同窓会東京支部で応援者を募って応援しましたが、今回は同窓会東京支部会に多くのバスケット部OBが役員を勤めているので大いに氣勢が上がり、支部を挙げての盛大な応援をいただきました。

同窓会東京支部では平成11年6月に支部独自の母校創立90周年記念事業計画で、「表徴旗」(応援旗2m×1.4m)を作る計画がありました。それが今回の全国大会出場の朗報に接して、緊急幹事会を開き「表徴旗」を選抜優勝大会に間に合わせるため6ヶ月早めて製作することを決議しました。正直に申し上げると一回戦だけでも勝たせたいと、12月18日に東京新橋の日比谷神社に於て「表徴旗」の入魂式と吉田高校の必勝祈願の祭典を、同窓会東京支部役員が参列して厳かに祈願致しました。

また、吉田高校バスケットボール在京OB会では応援案内状を在京クラブ員40名に、同窓会東京支部でも常任幹事30余名に通知して大変な盛り上がりで、必勝に期待を賭け上京を待ち受けました。試合前夜、竹田同窓会東京支部長、高見澤在京OB会長、小林善歩副会長がホテルへ激励に駆け付けて、選手諸君の前で励ましの挨拶をして、広田監督、垂沢顧問に県大会優勝のねぎらいと明日の大会の励ましの席を竹田支部長に設けていただきました。

試合当日は年末の平日にも拘らず三十数名が応援にはせ参じて、試合は1回戦群馬県代表の高崎商業高校を相手に報道の通り、最初から互角に戦い安堵して観戦したが、後半残り3分で11点のリードを許し、追い上げが出来る試合の流れで力もあると見ていたが、経験からこの点差で時間を見つめ挽回は難

しいと不安も感じていた。
 試合が進み相手のミスに乗じて残り1分奇跡に近い同点に追いつき、相手の焦りを誘い2ゴールをもって快勝した。大学のバスケットボール連盟の同僚役員も多く見に来て居て、長野吉田高校の勝利を同僚役員仲間からおめでとうの連発で祝福され、母校の名声をより高め全国から評価された現役に、OBとして1回戦に勝利した功績は大変大きく感謝しています。

2回戦は今大会ベスト4を狙う北海道代表の東海大第四高校でしたが、我が選手は力を充分出して前半互角に戦い、相手ベンチの動揺が観客席からははっきり見えたほどでした。後半はやはり力の差は厳しく残念な結果に終わりました。しかし吉田高校の善戦に観客からの大きな拍手歓声が上がっていました。

戦い終わった夜、竹田支部長の計らいで長野吉田高校の名声を高く轟かせ、誇りと喜びを同窓会員に与えて呉れたと、バスケット部に感謝を込めて「スタッフの慰労会」を高田馬場のクラブで開いて頂き、OB高見澤、小林、徳武氏の参加でバスケットの話が弾み、来年も出場権を取り全国大会に来る様にと大きな期待を伝え、バスケット部同窓の親しみで思い出の話が多く、時を忘れクリスマス夜の深夜看板まで語り続けた。

吉田クラブ (OBチーム) も頑張っています

『今年度OBの主な戦績』

- ★ 国体予選 <ベスト8> (4/11・12・19) 佐久市
 - 2回戦 吉田クラブ 77 - 51 下諏訪クラブ
 - 3回戦 吉田クラブ 60 - 41 須坂クラブ
 - 準々決勝 吉田クラブ 61 - 65 佐久エリクソンズ
- ★ 県一般大会 <第4位> (9/15・19・20) 上田市
 - 1回戦 吉田クラブ 69 - 43 駒ヶ根クラブ
 - 2回戦 吉田クラブ 85 - 70 伊那クラブ
 - 3回戦 吉田クラブ 87 - 38 松本BBC
 - 準々決勝 吉田クラブ 62 - 36 須坂クラブ
 - 準決勝 吉田クラブ 55 - 66 スタリオンズ
 - 3位決定戦 吉田クラブ 70 - 72 セイコーエプソン
- ★ 県総合選手権大会 <第3位> (11/7・8・15) 飯田市
 - 2回戦 吉田クラブ 72 - 66 須坂クラブ
 - 3回戦 吉田クラブ 74 - 46 長野大学
 - 準々決勝 吉田クラブ 83 - 64 佐久エリクソンズ
 - 準決勝 吉田クラブ 62 - 50 スタリオンズ
 - 3位決定戦 吉田クラブ 81 - 60 セイコーエプソン
- ★ 県クラブ選手権大会 <第2位> (1/9・10・17) 須坂市
 - 2回戦 吉田クラブ 66 - 55 伊那クラブ
 - 3回戦 吉田クラブ 59 - 49 Ken's
 - 準々決勝 吉田クラブ 68 - 51 東桑クラブ
 - 準決勝 吉田クラブ 68 - 57 須坂クラブ
 - 決勝戦 吉田クラブ 57 - 70 スタリオンズ

平成10年度 寄付者名簿

(1月15日現在・118名)

小林 豊歩	荒井 政治	吉沢 啓康	蜜沢 大輔	丸山 啓雄	竹村 周造
原山雄一郎	直江 勇	越 啓俊	工藤 知善	渋谷 啓雄	小林 良輔
北沢 正光	石井 担三	滝沢 陽介	石川 勇治	牧野 菊實	大沢 卓樹
相馬 達男	北村 誠一	青木 宏二	神山 真也	大前 雅彦	中沢 豊和
中沢 和久	岡村 優一	高池 一昭	藤原 惣一	山崎 康志	藤井 建治
岩崎 伸悟	竹村 裕夫	珍田 勇三	金児 浩二	佐藤 良幸	岩崎 敬二
塚田 如男	羽田 潤	高頭 勇介	長岡 典高	綾部 繁	早川 純哉
玉木 敏明	柳沢 守	白谷 秀明	白谷 英之	藤沢 和	山岸 憲一
横山 廣	押田 郁雄	橋詰 武人	橋詰 嘉章	塚田 壮一	伝田 好男
市川 健介	峰田 智幸	星沢 勝利	佐々木 明	関 喜典	植松 茂喜
鈴木 昌	高橋 清	植木 宏之	吉川 和彦	水崎 正	神頭 恒男
岡田 博文	小林 實得	小林 弘呼	前田 志行	赤塚 和夫	金丸 和博
柳見沢 宏	和田 哲男	大屋 康秀	田中 幸一	小松 彰	米沢 弘行
小池 千秋	竹腰 粁	柳沢 治夫	藤沢 賢一	早川 尚希	山岸 宣明
竹村 昇	加藤 英次	藤原 昭	高橋 英之	太田 哲男	小林 和夫
戸谷 章	太田 克志	吉沢慎一郎	大内 一志	佐藤 達也	松本 敦司
清水 信行	上倉 正嗣	石坂 清実	荒井 秀敏	宮原 清	小池 秀明
伝田 正則	海野 基	笹木 優吾	北山 一幸	小林 昭	武井 忠志
藤沼 健一	小松 満	佐々木 昇	戸津 幸雄	前島 利重	丸山 利男
丸山 文和	長谷川孟三	高見澤園雄	徳武 良昭		

寄付金決算報告

収入金額 803,000円

支出金額 745,500円

ユニフォーム代 594,000 (濃淡2色・各18着)

全国大会激励金 100,000

通信費 45,000 (寄付依頼書発送等)

事務費 6,500 (印刷・封筒等)

差引残金 57,500円

(残金はクラブ一般会計へ繰入れます。)



クラブ創立50周年記念式典が行われます

- ◆ 期 日 5月15日(土) 夕刻 ◆ 場 所 ホテルメトロポリタン長野(長野駅前)
 ◎ 詳細は後日連絡しますが、今から予定して友達を誘いあってお気軽に参加して下さい。懐かしい先生方にもご参加いただく予定です。

今後のスケジュール(インターハイ予選まで)

現役のインターハイ予選とOBの団体予選が今年は共に長野市で行われます。是非会場へ足を運びチームを応援して下さい。

3月14・20・21日	長野市長杯北信高校大会	長野市
3月27・28・29日	神奈川遠征	慶応義塾高校
4月11・17・18日	団体予選(成年男女子)	長野市
4月24・25・26日	近県大会(現役・OB)	上越市
5月3・4・5日	愛知遠征	予 定
5月15・16・17日	北信高校大会	更埴市
5月22・23日	東京遠征	予 定
6月4・5・6日	県高校総体(インターハイ予選)	長野市

横川先生に感謝の会を企画してみて

柳見沢 宏

横川先生が吉田高校で指導されていたのは、昭和44年度から54年度の間でした。たまたま、私は44年に1年間ご指導いただき、当時キャプテンもやらせて頂きました関係で、横川先生の感謝の会の企画に携わることとなりました。最初に何人かのメンバーで集まり、開催日を8月22日に決定して、構想を練り始めたのが6月中旬だったと思います。

目的のはっきりしている企画は、股取りもスムーズに進み、それぞれに分担された仕事も確実にこなされていきました。

当日の8月22日夕刻は、わくわくするような出会いを楽しみしながら、参加者の顔ぶれを待ちました。横川先生も奥様と同伴で元気に会場にお越しいただきました。

吉田クラブには実にすばらしいキャラクターの持ち主が沢山います。予定通りの開宴となり、はじめの挨拶が終わり、一杯入るとその個性あふれるキャラクターが爆発しました。

会場のいたるところでワンマンショーが始まりました。バスケット仲間っていいですね。

参加者の席は、同学年で固められていましたが、それぞれの席を行き交いながら、会場全体が1つになっていました。会話がはずみ、笑い声が絶えず、お酒の量がガンガンと伸びていきました。

幹事の一人として、飲み放題の設定にしたことをほくそ笑んでいました。それぞれの学年の思い出話では、丸秘情報的な話題もあり、時間を超越して高校時代のそれぞれになりきっていました。2時間の予定が1時間半の時間延長となり思わぬ出費となりましたが、最高の時間を満喫することができました。

今回の企画を通して、吉田クラブの仲間のつながりを強く感じました。特に共通の目的を持って企画することが必要だと思います。50周年記念誌「バスケットボールの歩み」を見て吉田クラブの発展の可能性を強く感じました。

5月15日のクラブ創立50周年記念式典は、それぞれの年代で指導された先生を囲んで、思い出話を花を咲かせたり、もっと時代を超越して共通のバスケット仲間として交流できる絶好の機会です。私もすばらしいキャラクター集団の仲間との再会を楽しみにしています。会員の皆様も同級生どうし声を掛け合って気軽にホテルメトロポリタンへ一杯飲みに行きましょう。

平成10年度 吉田クラブ会費納入者名簿

(3月1日現在)

8,000円 (納入者81名)

高見澤國雄	大沢 卓樹	押田 郁雄	戸津 幸雄	米澤 弘行	小林 誓歩
丸山 利男	戸谷 章	中村 盛男	小林 和夫	橋詰 武人	太田 哲男
山岸 宣明	中沢 豊和	小池 千秋	白谷 秀明	藤原 惣一	清水 信行
廣田 信一	大屋 康秀	伊藤 幸広	小松 彰	早川 尚希	鈴木 昌
岡田 博文	武井 忠志	酒井 貞利	柳見沢 宏	石井 担三	石川 下公
柳沢 守	篠原 正行	山本 正樹	珍田 勇三	北村 誠一	刀根川 清
小柳 誠	植松 茂富	高池 一昭	荒井 政治	中山 啓	宮沢 義弘
丸山 踏雄	直江 勇	北沢 正光	玉木 敏明	山崎 康志	相馬 達男
藤沢 和	山岸 憲一	横山 廣	竹村 裕夫	金児 浩二	佐藤 良幸
綾部 繁	佐々木 明	関 喜典	吉川 和彦	水崎 正	竹内 万夫
塚田 壮一	小林 弘呼	赤塚 和夫	金丸 和博	和田 哲男	星沢 勝利
柳沢 治夫	藤沢 賢一	竹村 昇	伝田 正則	藤原 昭	石坂 清実
宮原 清	小池 秀明	北山 一幸	小松 満	佐々木 昇	前島 利重
丸山 丈和	長谷川孟三	羽鳥 隆司			

5,000円 (納入者56名)

吉沢慎一郎	大内 一志	橋詰 嘉章	中沢 和久	白谷 英之	太田 克志
竹内 周造	篠原 伸之	植木 宏之	久保田哲司	清水 正利	羽田 潤
菊川 正道	蜜沢 大輔	浜沢 大和	大草 敬	中島 大輔	峰田 智幸
青木 宏二	工藤 知善	北山 芳昭	早川 純哉	越 啓俊	小林 貴得
原山雄一郎	吉原 誉夫	山口 剛史	堀内 泰伸	伊藤 俊雄	酒井 勲
宮本 明彦	吉沢 啓康	小林 良輔	滝沢 陽介	岡村 優一	岩嶋 伸悟
吉沢 匠	小島 教宏	西沢 史明	髙頭 勇介	長岡 典高	市川 健介
堀米 拓郎	安芸 昌史	小林 達也	小林 昭	高橋 英之	小沼 義博
佐藤 達也	笹木 優吾	上倉 正嗣	野田 和広	小野塚隆康	北島 甚一
藤沼 健一	沖 建治郎				

(註)

今年は会費納入と現役の寄付金が一緒になり、クラブの皆さんには大変なご負担をお掛けしましたが、暖かいご理解をいただき誠に有難うございました。

会費と寄付金を一緒にご送金いただいた会員も沢山いますが、クラブの健全財政を確立するため会費を優先して入金処理をさせて頂きました。

(例1. 8,000円会費の人が10,000円振込んだ場合は会費8,000円と、寄付2,000円とした)

(例2. 8,000円会費の人が5,000円振込んだ場合は会費未納で、寄付5,000円とした)

(例3. 5,000円会費の人が5,000円振込んだ場合は会費を納入として処理した)

したがって寄付の残金は、一般会計へ繰入れさせて頂きました。

東京支部会について

東京並びにその近郊に住んでいる会員の皆さん、「東京支部」がある事をご存知ですか？
昨年現役が全国高校選抜優勝大会で東京遠征をした時も、試合会場はもちろん、役員の皆様は宿舍にまで出掛けて激励や差し入れをしてくださいました。

また年に1回位は皆で集まって楽しく懇親会を開いています。
しかし学生や若い会員は住所が変更になったりして、連絡のしがきに戻ってきってしまう事があります。
東京支部会より連絡のない会員はどうぞ下記の東京支部役員まで気軽にご連絡下さい。

高見澤 国雄 ☎03-3775-3500 (自宅) ☎03-3578-9315 (会社)
小林 誓歩 ☎0424-82-6181 (自宅)

クラブチーム「中日本クラブ選手権大会」へ出場

吉田クラブは、10月3・4日、下記により大阪で行われる中日本クラブバスケットボール選手権大会に長野県代表として出場することになりました。

先日の上野一般男女子大会優勝の余勢をかって、全国レベルの大会でも頑張りたい。

記

1. 大会名・中日本クラブチームバスケットボール選手権大会
2. 期 日 平成11年10月2～3日
3. 会 場 大阪府門真市「なみはやドーム」
4. 参加チーム 北信越・東海・近畿の各府県を代表するクラブチーム

会費の納入にご協力下さい

今月は会費納入の用紙を同封しました。吉田クラブの運営は皆様から納めて頂く会費が財源のすべてです。今年の総会でも皆様に喜んで会費を納めて頂ける様な、魅力あるクラブにするにはどうすれば良いか検討しました。このクラブ便りにもあります様に今年1年かけてその方針を研究したいと思います。どうぞ会費納入にご協力下さい。

会費納入者名簿

(順不同・敬称略)

下記の方々には8月のクラブ総会の際、本年度分会費を納入して頂きました。
ご協力ありがとうございました。

大沢 卓樹、 押田 郁雄、 戸津 幸雄、 米沢 弘行、 小林 誓歩、 丸山 利男、
戸谷 章、 小林 和夫、 橋詰 武人、 太田 哲男、 山岸 宣明、 中沢 豊和、
小池 千秋、 白谷 秀明、 柳見沢 宏、 清水 信行、 廣田 信一、 大屋 康秀、
伊藤 幸広、 早川 尚希、 丸山 文和、 蜜沢 大輔、 吉沢慎一郎、 大内 一志、
中沢 和久、 吉沢 匠、 白谷 英之、

吉田クラブだより

平成11年10月1日

平成10年度吉田クラブ総会報告

長野吉田バスケットボールクラブの定例総会は、恒例の8月14日午後1時から吉田高校体育館で現役対OB戦の親善試合に続いて午後3時より「初の湯」に於て、22名が参加して行なわれた。
今年は珍しく本格的な雨降りりで連日の猛暑も一段落したが、参加したクラブ員は一律に毎年総会に参加しているが、盆に1日中雨降りなんて記憶にないと話していた。

総会は米沢会長のあいさつで開会し議事に入った。まず、平成10年度の事業報告、決算報告に続いて平成11年度の事業計画案、予算案が原案通り承認された。

また50年、400名以上にふくれ上がった吉田クラブを今後どのように運営して行けば、多くの会員に関心を持ってもらえるのだろうか？ また現在の8月1日に始まり7月末日に終わるクラブの事業年度が4月に始まる協会や学校の年度と違い不都合だ、など現執行部提案について審議されたが、規約改正も伴う重大問題なので、新役員で十分研究して来年度までに結論を出すよう付託決議された。

(次のページにこの改革の主旨を掲載してあります。皆様のご意見をお待ちしています。)

役員改選では、米沢弘行会長の勇退にともない会長に戸谷章、幹事長には中沢豊和、以下下記の新役員が選出され開会した。

引き続き行なわれた懇親会は、例によって吉田高校でバスケットボールに打ち込んだ者同志の親近感が年令の垣根を取り払い、終始なごやかなうちに夕暮れを迎え全日程を終了した。

総会出席者名簿 (順不同・敬称略)

米沢 弘行、戸津 幸雄、小林 誓歩、丸山 利男、戸谷 章、小林 和夫、太田 哲男、
山岸 宣明、荒井 政治、中沢 豊和、小池 千秋、白谷 秀明、柳見沢 宏、清水 信行、
広田 信一、大屋 康秀、伊藤 幸広、早川 尚希、蜜沢 大輔、吉沢慎一郎、大内 一志、
吉沢 匠、

平成11年度役員名簿

(回数は吉田クラブの卒業回数を示す)

会 長 戸谷 章 (第8回)
副会長 小林 和夫 (第9回)、橋詰 武人 (第11回)、太田 哲男 (第13回)、
山岸 宣明 (第13回)、岩崎 敬二 (第15回)、
幹事長 中沢 豊和 (第16回)
副幹事長 小池 千秋 (第18回)、白谷 秀明 (第18回)、柳見沢 宏 (第23回)、
清水 信行 (第24回)、
幹 事 川合 由夫 (第20回)、廣田 信一 (第26回)、大屋 康秀 (第27回)、
岡田 博文 (第27回)、伊藤 幸広 (第28回)、小松 彰 (第30回)、
高池 一昭 (第30回)、塚田 壮一 (第32回)、早川 尚希 (第32回)、
鈴木 昌 (第35回)、丸山 文和 (第36回)、田中幸一郎 (第38回)、
柿沢 直樹 (第41回)、小野塚康隆 (第42回)、松本 敦史 (第44回)、
吉沢慎一郎 (第45回)、大内 一志 (第46回)、吉沢 匠 (第48回)、
会計監事 大沢 卓樹 (第2回)、丸山 利男 (第7回)、

『吉田クラブ』の持ち味を生かしたい!!

クラブチーム・県一般男女子大会で見事優勝

7月に総会準備のため幹事会が行なわれました。

集まった役員は7名程度でしたが、話し合われた内容の一つに「今後の吉田クラブの運営について」がありました。

現在の会員は400名余にのぼっています。これだけのメンバーが機能し始めると、これはすごいエネルギーとなり新しい魅力が必ず出てくるものと確信しています。

どのようなまとまりが「吉田クラブの持ち味」を引き出すのか、会員の皆さんのご意見をお待ちしております。皆さんのお考えを11年度の役員まで積極的にお知らせ下さい。

下記の内容は、私見も含めながら先の役員会で話し合われた内容です。

今後このような内容に、皆さんの意見を取り入れながら役員会で十分検討したいと思います。

(文責：柳見沢 ☎026-295-4797)

1. 年度の切り替えについて

社会的に定着している4月1日から9月31日までを該当年度にしたいと思います。

現行の8月1日から7月31日では、協会・学校とも年度が違い不便さがあります。

2. 総会について

総会は毎年実施する期日や場所を固定して、通知がなくてもそこへ行けば仲間がいる総会としたいものです。例えば4月の第3土曜日の19時から〇〇で行なうとか。

参加者は、役員と年代ブロック（仮称）の代表者の参加で成立を認めるとか。

3. 8月14日の企画について

例年実施している高校現役チームとの試合は今後も実施し、OBチームや超OBチームの試合も企画し、この日はバスケットボール交流の日として継続する。

もし大学チーム等が合宿していれば、吉田クラブ主催の親善試合を総合体育館等を借りて公開することなども考えられます。

4. 本会で実施する運営内容について

会費の徴収や会報の発行、現役やクラブチームへの援助、総会の運営等は今までどおり行ないますが、これだけではマンネリ化し会員のクラブ活動への関心が薄れている現状を打破する事はできません、そこで

- ① 8月14日のバスケットデーの企画
- ② 東京支部会、年代ブロック会（仮称）、クラブ員の企画への補助
- ③ 独自の事業の実施、などを行ないます。

会員がもっと気軽に参加出来る様な事業を企画、実施することが会費の納入率を高め、会費の値下げが可能になります。

5. 年代ブロック会（仮称）について

指導された先生を中心にクラブ員を幾つかのブロックに分け、ブロックごとの運営をし、それぞれの代表が本会との関わりをもつ。

例えば、私達の顧問は横川先生でした。そこで横川先生に指導してもらった年代でブロックを作って、独自の企画や活動を進めてみたらどうかと思います。

まだまだ企画や検討事項があるかと思いますが、会員の皆様のご意見をお願いします。

要は50年400名にマンモス化したクラブを、どのように運営すれば多くの会員に関心を持ってもらえるか、これが今回の改革の原点です。

恒例の長野県一般男女子大会は、9月15・18・19日の3日間にわたって諏訪市を中心会場に岡谷市下諏訪町で行なわれた。

吉田クラブはユニフォームを新調して心機一転、準決勝で宿敵 TREASURES を敗り見事優勝した。

【大会結果】	2回戦	長野吉田クラブ 137 - 72	SWITCH
	3回戦	長野吉田クラブ 105 - 45	長沼クラブ
	準々決勝	長野吉田クラブ 109 - 70	東桑クラブ
	準決勝	長野吉田クラブ 70 - 62	TREASURES
	決勝	長野吉田クラブ 78 - 62	信州大学

【清水監督談】

今年は得点力のある新人の加入もあって、昨年よりチーム力はアップした。

春の国体予選ではチームがばらばらで、チームプレーが出来ず準々決勝で敗退したので、その後の練習にも力が入り体力もアップして選手層が厚くなった。

今回はベテランと若手がうまくかみ合い、得点力もアップして待望の優勝を勝ち取った。

11月の県総合選手権大会でも優勝して、名実ともに長野県のチャンピオンとなる様頑張ります。

第30回全国高校選抜優勝大会北信地区予選会

昨年は久しぶりに全国大会へ出場したこの大会も、今年は北信地区予選準決勝で伏兵長野商業高校に敗れる番狂わせがあり、苦しいスタートとなった。

北信3位で県大会に出場するが、この敗戦に警発して県大会では連続優勝を目指して頑張って欲しい。

【大会結果】	2回戦	長野吉田高校 94 - 90	須坂高校
	3回戦	長野吉田高校 113 - 69	篠ノ井高校
	準決勝	長野吉田高校 67 - 72	長野商業高校
	3位決定戦	長野吉田高校 112 - 57	屋代高校

【廣田監督談】

今年度はいまひとつ成績が奮いません。今年はガマンの年と思いながら、新人戦に向けて基礎づくりを毎日取り組んでいるのが現状です。高校選抜県大会では2回戦（準々決勝）で佐久長聖高校と戦うことになりましたが、必勝の精神で臨むつもりです。

新人にバトンタッチされ、今年度は長野東高校と吉田高校の一騎打ちとなります。現在は多少吉田高校の歩が速いのですが、打倒「長野東」、そして県制覇を目標に選手共々頑張っているところです。今後とも、あたたかいご支援をよろしくお願い致します。

国体出場の「長野県選抜チーム」に吉田クラブより3名選抜される

10月23日より熊本県で開催される、第54回国民体育大会のバスケットボール競技成年男子の部に出場する長野県選抜チームに、吉田クラブより柳沢 研、林 高秀、西沢 潤也の3選手が選抜されています。

長野県の成年男子チームは、昨年の神奈川国体で優勝した熊本県に1点差で敗れ惜しくもベスト4入りを目指していましたが、今年は吉田クラブの選手の活躍で念願のベスト4入りを目指して欲しいと思います。

吉田クラブだより

平成11年12月20日

2,000年問題が、今年の年末をより一層慌ただしく感じさせます。
新しい2,000年が、長引く経済不況をフッ飛ばす様な輝かしい年になるよう期待したいと思います。
バスケットボールに年末年始はありません。現役は暮れの中村杯、そして正月の選抜優勝大会と例年通り大会が続きます。
OBのクラブチームも1月9日から始まるクラブチーム選手権大会の優勝を目指して、練習に余念がありません。クラブ員の皆様もそれぞれの活躍にご注目下さい。

クラブチーム中日本大会で見事優勝!!

10月2・3日、大阪なみはやドームで行なわれた、第4回中日本クラブチームバスケットボール選手権大会に長野県の代表として出場した吉田クラブは、並みいる強豪チームを敗って見事優勝した。

1回戦	吉田クラブ	65 - 61	オラクル (大阪)
2回戦	吉田クラブ	93 - 48	阿騎野クラブ (奈良)
準決勝	吉田クラブ	94 - 78	ダックス (京都)
決勝	吉田クラブ	89 - 53	ウェブスターズ (和歌山)

『清水監督談』

仕事の関係、予算の関係もあって、試合前夜車で出発という強行軍であった。
1回戦は地元大阪との試合、審判の笛に泣かされ試合はもつれたが、最後にディフェンスを頑張り逃げきった。それ以後のゲームは身体も良く動き吉田本来のペースである中と外の攻撃バランスが良くなり、終始リードを保ちながらマイペースでゲームを進め初優勝することが出来た。

県総合選手権は惜しくも準優勝

長野県総合バスケットボール選手権大会は、11月14・20・21日の3日間、須坂市で行われた。
吉田クラブは9月の県一般大会、中日本大会と連続優勝しているため、今回も当然優勝を目指して大会に臨んだ。

2回戦	吉田クラブ	85 - 51	飯田クラブ
3回戦	吉田クラブ	96 - 48	れもん
4回戦	吉田クラブ	107 - 54	東桑クラブ
準決勝	吉田クラブ	87 - 65	すずらんクラブ
決勝	吉田クラブ	70 - 78	信州大学

『清水監督談』

決勝戦は予定通り9月の県一般大会と同じ、信州大学と対戦することになった。
お互いに手の内は知っているため信州大学はスタートから積極的に仕掛け、19対2とリードされて受身に回ってしまった。これが最後までひびき8点差で47年ぶりの優勝を逃がしてしまい、残念な結果になってしまった。これを反省して1月のクラブ選手権に優勝し、北信越予選を勝ち抜いて全国クラブ選手権大会に出場するよう頑張ります。

現役の県高校新人大会3連覇ならず

『顧問 廣田先生の話』

11月6～8日に須坂市で北信新人大会、12月3～5日と茅野市で県新人大会が行なわれました。今年の新人は長野東高校に優秀な選手が集まり前評判も高かったので、吉田高校は打倒長野東を目標に新人チームをスタートさせました。

北信大会では決勝戦で長野東に敗れ、北信2位で臨む県大会の組合せは苦しくなりました。

県大会では準々決勝であたる東信1位の佐久長聖高校を敗り、まずベスト4入りを目指しました。結果は快勝。目標のベスト4入りはなりましたが、準決勝で松商学園、3位決定戦で長野東高校にも敗れ4位に甘んじてしまいました。ベスト4の中で1～3位は実力伯仲、4位の吉田高校は残念ながらやや力不足と感じました。

今後12月27～29日の中村杯（鹿教湯）、1月4～6日の選抜優勝長野大会（松本）に出場しますので、ここでの経験を生かしながら来春の目標に向けて頑張るつもりです。

今後ともOBの皆様のご支援をお願い申し上げます。

【北信新人大会結果】

1回戦	吉田高校	96 - 51	屋代南高校
2回戦	吉田高校	115 - 50	須坂東高校
準決勝	吉田高校	86 - 42	長野日大高校
決勝	吉田高校	55 - 80	長野東高校

【県新人大会結果】

1回戦	吉田高校	122 - 74	田川高校
2回戦	吉田高校	79 - 66	赤穂高校
準々決勝	吉田高校	87 - 64	佐久長聖高校
準決勝	吉田高校	60 - 80	松商学園高校
3位決定戦	吉田高校	59 - 75	長野東高校

会費納入者名簿

(10月・11月納入者・順不同)

下記の方々に会費を納入して頂きました。ご協力有り難うございました。

なお、前回発表した方々(8月・9月納入者)は省略してあります。会費は常時受け付けていますので未納の方はご協力の程をお願い申し上げます。

石井 担三	丸山 緒雄	荒井 政治	山寺 康志	北村 誠一	田中 幸一
高池 一昭	小柳 誠	柳沢 守	初田 哲男	小松 彰	植松 茂富
岩崎 敬二	中山 啓	武井 忠志	長谷川 孟三	横山 廣	羽鳥 隆司
藤沢 和	星澤 勝利	金丸 和博	吉沢 啓康	越 啓俊	中島 修
福沢 晃	福沢 充	原田 将来	原田 将史	原山 一正	山口 剛史
岩嶋 伸吾	原山 雄一郎	横田 基文	佐藤 達也		

速報!

また、後輩がヤッテくれました!

顧問 広田 信一

日増しに秋も深まってまいりましたが、OBの皆様におかれましてはますますご清符のことと拝察申し上げます。日頃からのご理解あるバックアップに対しまして心から感謝申し上げます。

さて、後輩がまた頑張ってくれました。

過日、10月5日6日に行なわれました第33回全国高校バスケットボール選抜優勝大会県予選におきまして、昨夏の熊本インターハイ出場からメンバー総入れ替えの中、ひき続いて県制覇を達成することが出来ました。準決勝の佐久長聖戦まですべて100点ゲームで勝ち進み、決勝戦は今年度インターハイに出場した松商学園との対戦になり、下馬評では松商学園が圧倒的有利ではありましたが、『挑戦する立場だ、気楽に思い切ったプレイをしよう!』を合言葉に試合に臨みました。前半終了38対38、総体代表の松商と互角に渡り合い勝負は後半に。後半スタートからのシーソーゲーム、リードが入れ替わること8回。残り1分吉田は1点負け、ここでガードのスチールから速攻に持ち込み、バスケットカウント。フリースローも決まり2点の逆転となり、これが決勝点となりました。吉田高校本大会において4年ぶり6度目の出場権を獲得、私にとりましても指導5年目となりますが3回目の全国大会出場を達成することが出来ました。現役の頑張り心から敬意を表したいと思います。

OBの皆様には、ご迷惑をお掛けすることになりますが、よろしくお願い申し上げます。また、今後とも変わらぬ力強いご支援を重ねてお願い申し上げます。

第33回全国高校バスケットボール選抜優勝大会

【北信予選】

1回戦	長野吉田	133-71	屋代南
2回戦	長野吉田	136-64	松代
準決勝	長野吉田	116-53	長野工業
決勝	長野吉田	107-49	篠ノ井

【県予選】

1回戦	長野吉田	133-48	上田築谷丘
2回戦	長野吉田	115-78	飯田風越
準決勝	長野吉田	102-69	佐久長聖
決勝	長野吉田	69-67	松商学園

■ 今年度アジア選手権の関係で3月23日から神奈川県小田原にて開催すること。

信州

信州のWEBメールアドレス an-nagano@spnichi.co.jp

長野県新聞

〒380-0001 長野県長野市東町1-1-1 TEL:026-233-1111 FAX:026-233-1112

1日100円(税別) 1ヶ月2800円(税別) 3ヶ月7800円(税別) 半年14800円(税別) 1年28000円(税別)

8度リード入れ替わる接戦も

長野吉田残りの全盛期



4年ぶりの優勝に長野吉田メンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた

第88回全国学生バスケットボール選手権大会男子部、長野県代表の長野吉田高等学校が、4年ぶりの優勝を挙げた。決勝戦で、徳島県代表の徳島商業高等学校を破り、優勝した。吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

決勝戦は、徳島商業の強力なガードを突破し、吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

優勝した吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

優勝した吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

優勝した吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

優勝した吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

優勝した吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

優勝した吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

吉田は、4年ぶりの優勝にメンバーはコート上で歓喜の雄叫びを上げた。

競技会

74104	287
5748	6984
小長	東郷大正
小長	東郷大正
吉田	東郷大正
西	東郷大正

平成12年10月15日

平成11年度吉田クラブ総会報告

長野吉田バスケットボールクラブの通常総会は、8月13日正午から吉田高校体育館で恒例の現役対OB戦の親善試合を行ない、午後2時より「初の湯」において、17名が参加して行なわれました。親善試合はOBのプレーヤーが5名と少なく、OB・現役混成チームとなりましたが、猛暑の中現役との交流を図りました。

通常総会は、戸谷会長の挨拶で開会し、議事に入りました。

平成11年度の事業報告、決算報告に続いて平成12年度の事業計画案、予算案が原案通り承認されました。続いて今後のクラブ運営について議論があり、運営方法、会期の問題、会費納入問題等が審議されました。しかしこの問題は昨年度の総会でも審議され前記事項を付託決議されていましたが、今年度になっても結論に達せず、引き続き年間議論することになりました。

特に普段総会等に参加出来ない会員の皆様のご意見、ご要望をお待ちしております。

役員改選については、運営方法等を引き続き議論することとし、全員留任することで決定しました。

引き続き懇親会を行い、現役時代の苦勞話、同期の消息、現役への期待等、遠方より参加の諸先輩を囲みつつ、なごやかに終始し全日程を終了しました。

《総会出席者名簿》（順不同・敬称略）

米沢 弘行、小林 豊歩、戸谷 章、小林 和夫、橋詰 武人、太田 哲男、
山岸 宣明、中沢 豊和、小池 千秋、白谷 秀明、清水 信行、竹腰 尋、
広田 信一、大屋 康秀、早川 尚希、吉沢慎一郎、大内 一志、

《現役とのゲームのみ参加》

村田啓一郎、

平成12年度役員名簿

（回数は吉田クラブの卒業回数を示す）

会 長	戸谷 章（第8回）
副会長	小林 和夫（第9回）、橋詰 武人（第11回）、太田 哲男（第13回）、 山岸 宣明（第13回）、岩崎 敬二（第15回）、
幹 事 長	中沢 豊和（第18回）
副幹事長	小池 千秋（第18回）、白谷 秀明（第18回）、柳見沢 宏（第23回）、 清水 信行（第24回）、
幹 事	川合 由夫（第20回）、藤田 信一（第26回）、大屋 康秀（第27回）、 岡田 博文（第27回）、伊藤 幸広（第28回）、小松 彰（第30回）、 高池 一昭（第30回）、塚田 壮一（第32回）、早川 尚希（第32回）、 鈴木 昌（第35回）、丸山 文和（第36回）、田中幸一郎（第38回）、 柿沢 直樹（第41回）、小野塚康隆（第42回）、松本 敦史（第44回）、 吉沢慎一郎（第46回）、大内 一志（第46回）、吉沢 匠（第48回）、
会計監事	大沢 卓樹（第2回）、丸山 利男（第7回）、

第31回全国高校選抜優勝大会長野県予選会で3年生をむむ今年の大会が終了しました。ここで現役の活躍ぶりを振り返ってみたいと思います。

平成12年度長野県高校総体（インターハイ予選）

インターハイ予選は、6月2・8・4日の3日間佐久市で行われた。

北信大会の決勝で長野東に敗れて参加したこの大会は、準々決勝で第1シードの松商と対戦する厳しい組合せになったが、良く頑張り決勝まで勝ち進み再び長野東高校と対戦したが、延長戦の末5点差で敗れ惜しくもインターハイ出場を逃がしたが、大いに健闘をたたえたい。

《大会結果》

1回戦	長野吉田高校	108 - 56	小諸高校
2回戦	長野吉田高校	79 - 54	伊那弥生ヶ丘高校
3回戦	長野吉田高校	71 - 56	松商学園高校
準決勝	長野吉田高校	68 - 58	長野日大高校
決勝戦	長野吉田高校	59 - 64	長野東高校

北信越高校バスケットボール大会

長野市で6月16・17・18日に行われたこの大会に、長野県からは長野東、長野吉田、東海大三、長野日大の4チームが出場したが、長野県勢はいずれも1回戦で敗退するなか、吉田高校だけが1回戦を突破し、準々決勝へ駒を進めた。

《大会結果》

1回戦	長野吉田高校	74 - 59	金沢高校
準々決勝	長野吉田高校	60 - 86	富山商業高校

第31回全国高校選抜優勝大会北信地区予選会

一昨年全国大会へ出場したこの大会の北信予選は、9月3・9・10日の3日間長野市で行われた。現役チームは夏休み中ほとんど休まず遠征や登校練習で強化した結果、インターハイに出場した長野東高校を決勝で破り、県大会へ駒を進めた。

《大会結果》

1回戦	長野吉田高校	不戦勝	
2回戦	長野吉田高校	102 - 39	長野商業高校
3回戦	長野吉田高校	100 - 52	長野南高校
準決勝	長野吉田高校	101 - 47	篠ノ井高校
決勝戦	長野吉田高校	52 - 44	長野東高校

第31回全国高校選抜優勝大会長野県予選会

北信大会で優勝して県大会へ臨んだ現役チームは、準決勝で宿敵松商学園に敗れて全国大会への夢は敗れたが、新人チームには久しぶりに190cm台のセンターがいるので来年はインターハイの出場を目指して頑張りたい。

【大会結果】

1回戦	長野吉田高校	115 - 69	松本工業高校
2回戦	長野吉田高校	93 - 55	伊那弥生ヶ丘高校
準決勝	長野吉田高校	70 - 79	松商学園高校

【廣田監督の話】

日頃よりクラブ員の皆様には、多大なご援助を賜わり誠に有難うございます。心より感謝申し上げます。

先日(9月30日・10月1日)伊那市で行われました第31回全国高校選抜長野県予選会で今年の大会が全部終了しましたので、大会の結果報告を致します。

昨年12月の県新人大会では、他の3チーム松商学園・東海大三・長野東に20点の差があるベスト4から今年のチームはスタートしました。

5月のインターハイ北信予選では、決勝で長野東高校に敗れ北信2位と不本意な結果となりましたが、ひそかに県制覇を狙い6月のインターハイ県予選に出場しました。

準々決勝で新人大会の優勝チーム松商学園を敗り決勝に進出、インターハイ出場を掛けて再び長野東高校と対戦しましたが、延長戦で敗れてしまいました。

6月中旬の北信越大会では、他の県勢が1回戦敗退する中2回戦に進出しました。

9月、全国選抜大会の地区予選では長野東を決勝で下して優勝。県大会では準決勝で松商学園に敗れてしまいましたが、1年を振り返り選手一同良く頑張ったと思います。

さて、現在2年生は沖繩修学旅行も終り、新人大会に向けて連日練習に励みチーム強化を計っております。下記日程で新人大会が行われますが、チーム一丸となり優勝を目指して頑張る所存です。来年度は熊本のインターハイ出場を目指し対外試合を多くすることを考えますが、今後のご援助をよろしくお願い申し上げます。

北信新人大会	11月3・4・5日	須坂市民体育館
県新人大会	12月1・2・3日	松本市総合体育館

平成12年度会費納入のお願い

今月は会費納入の用紙を同封してあります。皆様に納めて頂いた会費は現役の強化とクラブ運営費として使われます。来年度の現役は久しぶりに190cm台のセンターを中心にインターハイを狙えるチームになりそうです。クラブとしても出来るだけの援助は惜しまないつもりです。そのためにも皆様のご協力をお願い申し上げます。

平成12年度会費納入者名簿

(順不同・敬称略)

下記の方々にはクラブ総会の時等で、平成12年度分クラブ会費を納めて頂きました。ご協力ありがとうございました。

大沢 卓樹、	押田 郁雄、	米沢 弘行、	小林 豊歩、	戸谷 章、	小林 和夫、
橘詰 武人、	太田 哲男、	山岸 宣明、	岩崎 敬二、	中沢 豊和、	小池 千秋、
白谷 秀明、	柳見沢 宏、	清水 信行、	竹腰 尋、	廣田 信一、	大屋 康秀、
前田 志行、	早川 尚希、	吉澤慎一郎、	大内 一志、	中沢 和久、	小山 達也、
白谷 英之、					

会長あいさつ

戸谷 章

(クラブ 第8期生)

仲秋の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より吉田クラブの運営につきましては、格段のご協力を頂きまして誠に有難うございます。

我が母校も創立90周年を迎え、今年の5月20日、盛大に記念式典が行われました。

当クラブも創部53年の歴史を積み重ね、各々の時代において長野県のバスケットボール界に多くの実績を残し、名実共に県内の伝統ある名門クラブとして君臨しております。

21世紀という新しい時代においても、良き伝統を継承し大きく飛躍発展するために、特に若い会員の積極的なクラブ運営へのご協力を心からお願い申し上げます。

幹事長あいさつ

中沢 豊和

(クラブ 第16期生)

8月の通常総会において、不肖私が幹事長の2期目に選出されました。

昨年1年間は活動不足のため、皆様にはご迷惑をお掛けしました。

吉田クラブは現在400名余の大所帯となり、運営も年々困難になってきております。

特に若い年代の会員が、もっと積極的にクラブ運営の中心になって活躍出来るように、現在の組織を見直し、運営年度、会費の問題等様々な課題を本年度中には方向づけをしたいと思っています。

クラブ運営の目的は、過去に吉田高校でバスケットボールを通して共に苦勞した仲間たちが『会員相互の親睦を図る』を主旨とし、「現役の支援」「クラブチームの活動」をすることです。

大所帯のクラブですが、一人でも多く参加し、若き青春時代を共有し、人生の糧になればと念願し、会員の皆さんの協力を得ながらクラブ運営をしていきたいと思っております。

今年一年よろしくお願い致します。

クラブチーム・県一般男女子大会で見事二連覇

長野県一般男女子大会は、9月17・23・24日の3日間佐久市総合体育館をメイン会場に諏訪市、穂高町、長野市の各地で男子55チーム、女子21チームが参加して行われた。

吉田クラブは、3回戦で対戦した豊科スカイアーツの外人選手の活躍で苦戦したが、それ以外は順調に勝ち進み、昨年に引き続き見事優勝した。

清水監督は勝因としてディフェンスの頑張りを上げていたが、もともと得点力のあるチームだけに今後もディフェンスを強化して、11月の県総合選手権大会、1月の県クラブ選手権大会でも優勝を目指して頑張りたい。

【大会結果】

2回戦	吉田クラブ	113 - 50	佐藤商会
3回戦	吉田クラブ	75 - 66	豊科スカイアーツ
4回戦	吉田クラブ	99 - 50	セイコーエプソン
準決勝	吉田クラブ	74 - 70	県教員A
決勝戦	吉田クラブ	88 - 71	スティンガーズ

吉田クラブだより

平成12年12月20日

20世紀もあと数日で終わろうとしています、クラブ員の皆様はいかがお過ごしでしょうか？
バスケットボールは世紀末に関係なく、年末は高校のウィンターカップ、正月は全日本総合選手権大会と恒例の行事が行われます。

また現役も年末は北陸ウィンターカップで富山遠征、それが終わって鹿教湯の中村杯、そして正月は恒例の高校選抜長野大会で松本遠征と、久しぶりのインターハイ出場を目指し暮れと正月を返上して頑張っています。

クラブの皆様も正月には、松本へ現役の活躍ぶりを応援に出掛けませんか。

クラブ員の皆様へ

幹事長 中澤 豊和 (第16期生)

暮れも押し迫り、また、今年は20世紀末ということクラブ員の皆様におかれましては、何かとお忙しい日々を送られていることと存じます。

平素、吉田クラブの運営につきましましてはご協力頂きありがとうございます。

さて、クラブ運営につきましましては「クラブだより」によりクラブ員の皆様に近況報告をさせていただき、ご意見等伺っているところですが、運営年度の改正、会費納入の問題等の諸問題を見直し、もっと若い年代の多くのクラブ員が、積極的にクラブ運営に参加して頂ける様な改正案を、来年度の総会に提案すべき準備を幹事会で進めています。

どうぞクラブ員の皆様も建設的なご意見をお聞かせ下さる様、お願い申し上げます。

慢性的に運営資金の不足が続いており、今回も平成12年度の会費納入状況を報告しておりますが、「クラブ運営」「現役選手への支援」等の活動に支障をきたしています。

吉田クラブも各種大会で優勝・準優勝し、現役もインターハイ出場に向けて順調にチーム力を向上させて来ております。

これらの活躍を応援すべく、今回も会費未納の方には納入をお願いしておりますので、クラブ発展のため是非ご協力をお願いします。

20世紀も残り少なくなりましたが、クラブ員の皆様にはご健勝で過ごされ、新たな21世紀が良い年となりますよう、ご祈念申し上げます。

長野県総合選手権で準優勝・クラブチーム

平成12年度、長野県総合バスケットボール選手権大会は11月12・18・19日の3日間飯田市県体育館を主会場に男子54チーム、女子20チームが参加して行われた。

第1シードの吉田クラブは順調に勝ち進み、決勝戦まで進出したが信州大学と対戦し3点差で敗れてしまった。

実力的には負ける相手ではないだけに、もっと練習に励み体力をつけて頑張りたい。

試合結果は以下の通り。

2回戦	吉田クラブ	119 - 55	森ノ井クラブ
3回戦	吉田クラブ	111 - 65	豊科スカイアーツ

平成12年度会費納入についてお願い

10月の「吉田クラブだより」でクラブ会費納入をお願いをしたところ、沢山のクラブ員の皆様にご協力をいただき誠に有難うございました。

しかし今回の幹事長のあいさつにもあります様に、クラブは慢性的な資金不足にあえいでいます。特に今年は現役の強化のためクラブとしても出来るだけの援助をしてやりたいと思います。

そこで今回も会費未納のクラブ員には郵便振替用紙を同封致しました。

暮れのお忙しい時に恐縮に存じますが、吉田高校のバスケットボールのため是非会費納入にご協力をお願いします。

納入方法は下記により、ご都合の良い方法でお願いします。

記

1. 納 入 金 額 8,000円 (第41期以前のクラブ員)
5,000円 (第42期以降のクラブ員)
(同封の振替用紙に金額が入っています、その金額でお願いします)
2. 納 入 方 法 ① 同封の振替用紙により郵便局で納めて頂く。
② 下記銀行口座へ振り込んで頂く。
八十二銀行長野市役所支店
普通預金 108-461
長野吉田バスケットボールクラブ
③ 現金で事務局または役員に手渡す。
3. 納 入 期 限 平成13年1月31日
4. そ の 他 すでに会費を納入して頂いた人は、振替用紙が入っていません。

平成12年度会費納入者名簿

(順不同・敬称略)

下記の方々には平成12年度分クラブ会費を納めて頂きました。ご協力ありがとうございました。

『前回のクラブだよりで発表分・25名』

大沢 卓樹、	押田 郁雄、	米沢 弘行、	小林 慧歩、	戸谷 章、	小林 和夫、
橋詰 武人、	太田 哲男、	山岸 宣明、	岩崎 敬二、	中沢 豊和、	小池 千秋、
白谷 秀明、	柳見沢 宏、	清水 信行、	竹腰 尋、	廣田 信一、	大屋 康秀、
前田 志行、	早川 尚希、	吉澤慎一郎、	大内 一志、	中沢 和久、	小山 達也、
白谷 英之、					

『新期納入者・10月～12月15日まで・36名』

(もしこの会報と行き違いに納入していただいた方は、次回に発表させていただきます。)

丸山 緒雄、	戸津 幸雄、	渋谷 啓雄、	横山 廣、	植松 茂憲、	荒井 政治、
柳沢 守、	北村 誠一、	小柳 誠、	藤原 悠一、	黒島 秀介、	和田 哲男、
小池 秀明、	相馬 達男、	高池 一昭、	田中 幸一、	佐々木 明、	塚田 壮一、
中山 啓、	鈴木 昌、	山崎 康志、	伊藤 俊雄、	松本 敦史、	峰田 智幸、
吉沢 啓康、	蟹沢 大輔、	笹木 優吾、	青木 義和、	岩嶋 伸吾、	福澤 晃、
塚田 史郎、	北村 弘之、	小林 良、	佐藤 靖之、	滝沢 聖司、	福沢 伸輔、

4回戦	吉田クラブ	89 - 54	長工クラブ
準決勝	吉田クラブ	95 - 63	長野県教員A
決勝戦	吉田クラブ	59 - 62	信州大学

クラブチーム今後の日程

吉田クラブは1月7・8・14日の3日間、松本市で行われる第27回長野県クラブチーム選手権大会での優勝を目指して練習に汗を流しています。

この大会で勝てば本年度の北信越クラブ選手権大会は2月3・4日の2日間長野市のホワイトリングで行われますので、地元の利を生かして是非全国クラブ選手権大会に出場するよう頑張ってくださいと思います。クラブ員の皆様も2月3・4日はオリンピックフィギアスケートの会場となったホワイトリングへ足を運び吉田クラブの応援をお願いします。

なお、第27回全日本クラブバスケットボール選手権大会は平成13年3月17・18・19日に広島市で行われます。

現役も頑張っています

久しぶりに大型センターを擁し、「インターハイ出場」を合言葉に頑張っている現役チームは、新人の北信大会決勝戦で、まさかの長野日大高校に敗れ厳しいスタートとなった。

北信2位で県大会に出場したので、当然準々決勝で中信1位の松商学園と対戦する組合せとなり苦戦は免れないところとなったが、見事松商学園戦を突破し準決勝で東海大三高校と対戦し惜敗したが、3位決定戦では長野日大と再び戦い、北信大会の借りを返し県大会では第3位となった。

今後も宿敵、東海大三と松商学園は打倒吉田に燃えてくるものと思われるが、それ以外のチームも油断をすると長野日大戦の様に足元をすくわれかねない。

幸い廣田監督も現在の戦力を冷静に分析して、今後のチーム力アップのため冬休みも返上して頑張ると力強い言葉で語っていたので大いに期待したい。

【北信大会の結果】

2回戦	長野吉田高校	128 - 61	飯山南高校
3回戦	長野吉田高校	123 - 75	長野工業高校
準決勝	長野吉田高校	98 - 56	篠ノ井高校
決勝戦	長野吉田高校	76 - 83	日大長野高校

【県高校新人大会】

1回戦	長野吉田高校	92 - 45	飯田工業高校
2回戦	長野吉田高校	94 - 47	岩村田高校
3回戦	長野吉田高校	93 - 70	松商学園高校
準決勝	長野吉田高校	60 - 69	東海大三高校
三 決	長野吉田高校	101 - 76	日大長野高校

【廣田監督の話】

県高校新人大会の結果は第3位であったが、現在の吉田高校チームは十分インターハイを狙える戦力があると思うので、今後更に強化に励みせいかくのチャンスを生かしたいと思います。

これからの冬季練習は多くのプレーヤーにゲームの経験を積み、的確な状況判断が出来ると共にミス

を少なくして、外角のプレーヤーの得点力(3ポイント)をアップしたい。

現代のバスケットボールは選手層が厚くないと戦えないので、6・7番手のプレーヤーの成長がカギとなるだろう。

寒い暮れと正月にゲームが続くのでプレーヤーの健康管理には十分注意して、風邪・怪我等がない様に気を付けたいと思います。

クラブ員の皆様には、常にあたたかいご支援ご声援をいただき感謝しておりますが、今後ともよろしく応援の程お願い申し上げます。

現役チームの今後の日程

★ 第3回「北陸ウインターカップ」バスケットボール選手権大会

12月23・24・25日 富山県魚津市

この大会は東北2、関東3、東海4、北信越7、富山10、の26チームが参加して行われます。今年始めて参加する大会ですが、県外の強豪チームと対戦し、大いに勉強してきて欲しいと思います。

★ 「中村杯」優勝大会

12月28・29・30日 鹿教湯温泉中村旅館体育館

県内の強豪チームが参加

★ 第23回高校新人選抜優勝長野大会

平成13年1月4・5・6日 松本市総合体育館

今年も東海大浦安・愛工大名電・大商学園・鳥羽の県外招待チームと県内新人大会のベスト4の東海大三・佐久長聖、長野吉田、日大長野が3日間で総当たりリーグを行います。

★ 北信越高校新人選手権大会

平成13年1月26・27・28日 富山市

北信越5県の新人大会上位3チーム(開催県の富山県は4チーム)が参加します。

上記の様に12月から1月は大会がめじろ押しです。

目標に向かってチーム力が向上するよう頑張ってください。

O.B.も頑張っています

吉田クラブを私たちの宝に

今回の県大会を観戦して、かつて吉田クラブのあり方を提案させてもらったことを思い出しました。吉田クラブの仲間が火勢応援に駆けつけていました。

改めて、吉田でバスケットボールをやっていた仲間のすばらしさを実感し、吉田クラブの仲間は、私たちの宝物になることも確信しました。

そこで、再度提案させていただきます。この吉田クラブを機能することのアイデアです。

この時代にふさわしいネットワーク化を図りたいのです。

今回の「長野吉田高校バスケットボール部のインターハイ出場」に刻する寄付活動がなされると思いますが、この活動を通して、私たちの吉田クラブのつながりがより深まればと思っています。

先日の吉田クラブ幹事会で年代ブロック会の導入が検討されました。

それは、大きく5つのブロックで組織づくりを図ることです。

第一年代ブロック
(第60期生位まで)

第二年代ブロック (第69期生位まで：主に横川先生が顧問)

第三年代ブロック (第77期生位まで：主に石坂先生が顧問)

第四年代ブロック (第90期生位まで：主に福沢先生が顧問)

第五年代ブロック (現役まで：主に広川先生が顧問)

今回のカンパ活動の中から仲間の再確認がきつとできるとと思っています。そして、各年代ブロックにインターハイ後の報告会が出来ればいいなアーと思っています。

一人でも多くの仲間が誘い合い、私たちの

平成11年10月1日の吉田クラブだよりより

『吉田クラブ』の持ち味を生かしたい!!

7月に総会のために打ち合わせが行われました。集まった役員は、7名程でしたが、話し合われた内容の一つに「今後の吉田クラブの運営について」がありました。

現在の会員は380名余にのぼっています。これだけのメンバーが機能し始めると、これはすごいエネルギーとなり新しい魅力が必ず出てくるものと確信しています。

どのようなまとまりが「吉田クラブの持ち味」を引き出すのか、役員皆さんのご意見をお待ちしております。皆さんのお考えを、11年度役員までお知らせください。

下記の内容は、私見も含めながら先の役員会で話し合われた内容です。
(文責：柳見沢 TEL 026-295-4797)

- 1 年度の切り替えについて・・・前年の8月14日総会で決定されるを思いますが社会的に影響している。8月1日から3月31日までの球当年度とする方針にしたいと思います。
- 2 総会について・・・総会出席率を高める取組や審判を固定して、通知がなくてもそこに行けば準備が済む総会としたいものです。例えば4月の選手と選手の間からO.Oで対峙しようとか。参加者は、役員と年代ブロックの代表者(※)の参加を認めるとか。
- 3 8月14日の企画について・・・例年実施している高校現役生チームとの試合を実施し、O.B.チームや超O.B.チームのゲームも企画し、この日は交流の日として継続するとか。
- 4 総会で実施する運営内容について・・・会費の徴収や会費の発行、総会の運営は今まで通りの方針となりますが、(会費の適度な徴収をすることで、会費を下げることに危険だと思いが、・・・)その際に
 - ①8月14日の企画
 - ②東京支那会、年代ブロック会(※)、クラブ員の企画への補助
 - ③独自の事業の実施 などはどうでしょうか。
- 5 年代ブロックについて・・・推進された会を中心としたクラブ員をいくつかのブロックに分け、ブロックごとに運営をし、それぞれの代表が本会との接点になります。例えば、私達の顧問は横川先生でした。そこで横川先生に相談してもらって年代でブロックを創って、独自の企画や活動を確めてもらいたいと思っています。

まだまだ企画や検討事項があるかと思いますが、役員皆さんのご意見をお願いします。

を共有し合ひましょう。

(文責：柳見沢 E-mail:yanami@lycos.ne.jp)

国体予選で第3位

平成13年度の国体予選は4月15・20・21日須坂市を中心に行われた。吉田クラブは準決勝で信州大学に敗れ、第3位に甘んじた。

【国体予選結果】

2回戦	吉田クラブ	85 - 52	東桑クラブ
3回戦	吉田クラブ	108 - 32	穂高クラブ
4回戦	吉田クラブ	89 - 83	すずらんクラブ
準決勝	吉田クラブ	64 - 88	信州大学
3位決定戦	吉田クラブ	74 - 51	須坂クラブ

今シーズンからルールが一部改正されます

日本バスケットボール協会では今シーズンからルールの一部を改正した。ここではその主なことを簡単に解説します。

- ① 24秒ルール (現行は30秒)
ボールを保持したチームは24秒以内にショットしなければならない。
- ② 8秒ルール (現行は10秒)
バックコートでボールを保持したチームは、8秒以内にホールをフロントコートに進めなければならない。
- ③ 競技時間 (ピリオドをクォーターと読み替えてもよい)
ゲームは10分のピリオドを4回行う。第1ピリオドと第2ピリオドの間、第3ピリオドと第4ピリオドの間にそれぞれ2分の休みをおく。ハーフタイムは10分または15分とする。
- ④ チームファウルの罰則
1チームが各ピリオドに4回のファウルをしたあとはチームファウルの罰則(フリースロー)が適用される。(現行は各ハーフに7回)
- ⑤ チャージド・タイムアウト
各チームは第1ピリオドから第3ピリオドまでは各ピリオドに1回、第4ピリオドは2回のチャージド・タイムアウトをとることができる。(現行は前半2回、後半3回)

以下略。今度の変更の趣旨は、ゲームがよりアグレッシブでスピーディになるように24秒ルール、8秒ルールを採用し、プレイヤーが集中して能力を充分に発揮出来るように、また時限終了間際に緊迫感のある場面を増やし、よりゲームを魅力的にするために4ピリオド(クォーター)制を採用した。

日本リーグでは昨年度からこのルールを使っていますので、新聞記事の得点が4ピリオドで報道されています、お気づきの方も多いと思います。

長野県では一般がこの春から、高校は4ピリオド制を秋から使用することになっていますが、24秒や8秒ルールは春から使われています。

『後輩が頑張ってくれました!』

吉田高校監督 広田 信一

県新人大会3位からインターハイを目指して、暮れの北陸ウインターカップ・中村杯・年始のモルテンカップ・1月下旬の北信越新人大会・3月の市長杯・下旬の東日本カーニバル・4月初めの青山杯・下旬の近県大会・5月連休の新潟遠征・本校での数々の練習試合と、試合を経験する中で選手たちが大きく成長してくれました。

この間、4月初めのエース大屋君の故障で一時はどうなることかと思いましたが、県大会前に復帰大屋君の精神力の強さには感心しました。他のメンバーも大屋君の復帰を信じて必死に練習に臨み、4月5日のチーム力の向上には著しいものがあつたと思います。

OB会と保護者会の力強いバックアップをいただきながら、初のOB指導者として就任4年目に念願の全国高等学校総合体育大会への切符を手にすることが出来ました。

心から感謝申し上げます。今後ともより一層のご支援をよろしくお願い致します。

県大会優勝の喜びの実感が徐々に強くなってきております。……ホッとしました。

吉田クラブだより

平成13年 6月15日

やった! 現役・インターハイ出場

10年ぶり・通算14回目

平成13年度、第46回長野県高等学校総合体育大会・バスケットボール競技会は6月1日～3日まで茅野市で行われた。

吉田高校は決勝戦まですべて100点ゲームで勝ち進み、決勝戦は地元の東海大三高校と対戦した。東海大三の応援団でスタンドは超満員にふくれ上がり、異様な雰囲気ではじまった決勝戦は、前半東海のペースでスタートしたが、自力に勝る吉田高校は後半ペースを取り戻し、敵地で10年ぶりの優勝を決めた。

今後現役は6月16・17日に金沢市で行われる北信越高校総体に出場し、8月2日から熊本市で行われる第54回全国高校選手権大会に出場します。

クラブとしても、現役の10年ぶりの快挙をたたえ、全面的なバックアップをしてやりたいと思いますので、よろしくご協力の程をお願い申し上げます。

なお近年、長野吉田高校女子バスケットボール部も力を付け、今年は春の北信大会で男女アベック優勝し、県大会でも準決勝で優勝した東海大三に敗れたが、三位決定戦で伊那弥生ヶ丘高校を取り3位となり、男子と共に金沢で行われる北信越大会に出場することになった。

県内のバスケットボール界を見ても、他の三地区はどれも私学の優勝が続くなか、北信の吉田高校の頑張りは特筆すべきものである。

我々クラブ員は、今後ともこの輝かしい伝統を守るため、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

【北信大会結果】 5月11・12・13日、更埴市

2回戦	吉田高校	121 - 87	北部高校
3回戦	吉田高校	98 - 59	長野西高校
準決勝	吉田高校	105 - 75	篠ノ井高校
決勝	吉田高校	111 - 85	長野日大高校

【県高校総体結果】 6月1・2・3日、茅野市

1回戦	吉田高校	124 - 74	上伊那農業高校
2回戦	吉田高校	118 - 59	上田東高校
準々決勝	吉田高校	115 - 59	伊那北高校
準決勝	吉田高校	120 - 70	佐久長聖高校
決勝戦	吉田高校	68 - 60	東海大三高校

信濃毎日新聞

2001年(平成13年)6月4日(月曜日)



雰囲気ガラリ 後半逆転

バスケットボール
東海大三に逆転勝利
吉田高校男子バスケットボール部は、北信越大会決勝戦で東海大三高校と対戦し、後半逆転して優勝した。試合は前半東海のペースで進み、後半吉田高校が奮起して逆転した。監督の広田信一は「選手たちの精神力が素晴らしい」とコメントした。

長野吉田男子 10年ぶりV

バスケットボール男子決勝・長野吉田-東海大三 後半6分、長野吉田の大風が47点目のシュート。リードを6点に広げる

インターハイ出場への資金援助について（お願い）

皆様すでにご承知のように、我が吉田高校バスケットボールチームは、8月2日から熊本市で開催されるインターハイに、10年ぶりで出場することになりました。

クラブだよりに詳しいことは掲載してありますが、クラブとしても10年ぶりの快挙をたたえろと共に、資金援助も含む全面的な支援をしてやろうと、役員会で決議致しました。

開催場所が遠方であること、チーム全員を参加させてやりたい等のため多額な出費が見込まれます。今回のインターハイ出場にあたっては、吉田高校同窓会、PTA、現役父母会でも支援活動をしています。やはり吉田クラブが中心になると思います。

クラブ便りの4面に柳見沢副幹事長が提案しているように、今度の現役への寄付活動を通してクラブとクラブ員のつながりが、より深まるように下記の様な特別チームを立ち上げて会員各位にご協力して頂くための活動を始めることにしました。

経済状態が厳しい中、誠に恐縮ですが現役の高、下記によりなにとぞご協力の程をお願い申し上げます。

【グループ分け】

- | | |
|----------------|------------------------------|
| 1. クラブ1回生～22回生 | 担当・戸谷 章会長、中沢 豊和幹事長、 |
| 2. クラブ23回～33回生 | 担当・柳見沢 宏、清水 信行、(横川先生が顧問の年代) |
| 3. クラブ34回～39回生 | 担当・柳沢 研、丸山 文和、(石坂先生が顧問の年代) |
| 4. クラブ40回～51回生 | 担当・松本 敦史、佐藤 達也、(福沢先生が顧問の年代) |
| 5. クラブ52回～54回生 | 担当・小林和夫副会長、広田信一、(広田先生が顧問の年代) |

記

- | | |
|---------|------------------------|
| 1. 募金金額 | 一口 5,000円（一口以上お願いします） |
| 2. 募金方法 | ① 同封の振替用紙により郵便局で納めて頂く。 |

② 銀行口座へ振り込んで頂く。

八十二銀行長野市役所支店 普通預金 108 - 461

長野吉田バスケットボールクラブ

③ 直接役員へ納めて頂く。

- | | |
|---------|------------------|
| 3. 募金期間 | 平成13年6月20日～7月25日 |
| 4. 募金目標 | 2,500,000円 |

平成12年度会費納入者名簿

平成12年12月18日～6月15日まで・それ以前納入者は発表済みにつき省略

石井 担三、 直江 勇、 内山 尚之、 関 喜典、 羽鳥 隆司、 石川 下公、
 木田 隆幸、 星澤 勝利、 藤澤 和、 金丸 和博、 佐藤 良幸、 武井 忠志、
 伊藤 幸広、 赤塚 和夫、 綾部 繁、 柳沢 研、 太田 克志、 山口 剛史、
 佐藤 達也、 長岡 典高、 吉沢 匠、 市川 秋秀、 酒井 俊明、 坂田 珠、
 塚田 俊央、

御 礼

拝啓 初秋の候、皆様方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
 一般の全国高校総体出場に際しましては、ご声援ご支援、本当に有難うございました。
 ここに心より厚く御礼申し上げます。

スローガン「このとき君が輝き風になる」のもと、バスケットボール競技大会は、8月1日の総合開会式に続いて2日より「火の国熊本」の熊本市で行われました。初戦の相手は東京代表の世田谷学園、強者ぞろいの関東で2位の力がある強豪と戦うことになりました。前半は一進一退の見ごたえのある攻防、スタートで出遅れはしたものの50対49、1点負けて勝負は後半に。後半2分で逆転はするが追いつ追われつ、残り7分で10点リード、終わってみれば100対90の快勝でした。出場前、〈長野県の長野吉田ここにありを示すべく暴れよう〉を抱負としました。負けて当たり前前のチームに選手は見事戦い大暴れして価値のある一勝を獲得してくれました。

翌日3日の2回戦、組合せの悪戯かまたしても関東千葉代表の市立柏。関東大会ですべて100点ゲームダブルスコアで1位となり全国優勝を狙う、センター203cmと192cm、フォワード188cmと186cmの今大会NO1の長身チームと戦いました。下馬評では勝負は明らかに見えた試合でしたが、〈負けてもともと暴れて終わろう、ダブルスコアにならないように70点以上は取ろう〉を目標に試合に臨みました。結果は109対75、敗れはしましたが内容のある試合で、生徒達は全国の大舞台で価値ある体験をして帰長しました。

最後に、今回の全国大会出場を新しい節目として後輩諸君が伝統を引き継いでくれることと確信しています。季節の変わり目となりますが、ご自愛のほどをお祈り申し上げ、ご報告と御礼にかえさせていただきます。

敬具

平成13年 9月 6日

後援会・父母会 会長 池田 雅次
 長野吉田高等学校 校長 城内 一繁
 バスケットボール班 顧問 広田 信一
 垂澤 敏明



吉田クラブだより

平成13年10月

平成12年度吉田クラブ総会報告

長野吉田バスケットボールクラブの定例総会は、8月14日正午から母校体育館で現役対0日の練習試合を行い、引き続き午後2時から「初の湯」において17名が参加して行われた。

総会は戸谷会長のあいさつで開会し、平成12年度の事業報告、決算報告において平成13年度の事業計画(案)、予算(案)を審議し、併せてインターハイの寄付状況を報告し、原案どおり承認された。

また、当クラブ発足時から、事務局として永年借用していた「押田スポーツ店」が閉店した事にもとない、感議の意を満場一致で可決した。

引き続き総会を行い、10年ぶりの現役インターハイ出場の話、クラブ運営の活性化策等々ごやかに歓談し閉会した。

総会の主な討議内容は下記のとおりです。

1. 事務局 長野吉田バスケットボールクラブ幹事長宅とする。
長野市豊和町146-4 中澤 豊和 宅
2. 会費 当面現行どおりとし、クラブ入会金(高校卒業時)の導入を含め、全借納入状況を勘案しつつ検討していく。
3. 年度 年度末切替えについては、会員の仕事上年度末始は忙しく、参加人数の確保、総会開催等が困難であることから、従来どおりとする。
4. 運営 一定年代毎に幹事を設定し年代ブロック別活動の充実、会員の団結が毎年バスケットに類しめる環境作り、地域活動への呼びかけ等の課題に取り組む。
また女子クラブとの合同運営も併せて活動の充実を図るため新役員で検討していく。
5. 総会出席者(順不同・敬称略)
戸田 勉、小林 慧太、丸山 利男、戸谷 章、橋本 武人
太田 哲男、山岸 宣明、中沢 豊和、小池 千秋、白谷 秀明
柳見沢 宏、清水 信行、水崎 正、広田 信一、大屋 康秀
早川 尚希、大内 一志

平成13年度役員名簿

会長	小林 和夫 (第9回)
副会長	橋本 武人 (第11回)、太田 哲男 (第13回)
幹事長	山岸 宣明 (第13回)
副幹事長	中澤 豊和 (第16回) 小池 千秋 (第18回)、白谷 秀明 (第18回) 柳見沢 宏 (第23回)、清水 信行 (第24回)
幹事	1. クラブ1回生~22回生 中澤 豊和 (第16回)、小池 千秋 (第18回) 2. クラブ23回生~33回生 (樹川先生顧問) 大屋 康秀 (第27回)、早川 尚希 (第32回) 3. クラブ34回生~39回生 (石坂先生顧問) 橋本 研 (第35回)、丸山 文和 (第36回) 4. クラブ40回生~51回生 (橋本先生顧問) 佐藤 達也 (第45回)、大内 一志 (第46回) 橋本 晃 (第48回) 5. クラブ52回生~ (広田先生顧問) 藤田 将史 (第52回)、

副幹事 各年代ブロック毎に、一年代1人設定。

会計 太田 哲男 (第13回)

会計監査 大沢 卓樹 (第2回)、丸山 利男 (第7回)

退任ご挨拶

職務の係、クラブ員の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、8月14日の定期総会をもって会長を退任させていただきました。
在任2年間は誠に教力な私をクラブ員並びに役員の皆様のご協力で、無事務めさせて
いただき心より御礼申し上げます。
後任として、人格職員ともに優れた重鎮小林和夫氏をお迎え出来たことは、この上な
い喜びであります。
新会長に、私同様ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
430名余りの大所帯となったクラブの益々のご発展と皆様のご健勝とご多幸をお祈
り申し上げます。

戸谷 章

会長就任の挨拶

8月の通常総会において、不肖私が吉田クラブの会長という大役を仰せつかり困惑し
ております。もとより力不足ではありますが、一生懸命に努めますのでよろしくお願
い申し上げます。
吉田クラブも、半世紀の歴史と、400有余名のクラブ員を抱えるマンモス団体にな
りました。近年、役員は一生懸命努力しているのに、その運営方針がクラブ員全体に
反映せず「受けど罷らず」の状態が続いています。この現表を役員全体で真摯に分析
し、特に若い会員も中堅の会員も、共に楽しくバスケットボールを語り、プレー出来る
場を作りたいと思います。
我々は年齢に関係なく「青春の時代を吉田高校でバスケットボールに打ち込んだ」
共通の体験がある仲間です。クラブの規約にもありますように、「会員相互の親睦を図
り」「現役チーム強化のために全面的援助」をするのが我々の目的です。
目的達成のため、建設的なご意見をお寄せ下さることをお願いしまして、就任の挨拶
といたします。

小林 和夫

幹事長3期目

昨年度は現役チームの10年ぶりのインターハイ出場に際して、多勢の方のご協力を
得て現役支援が出来ました。御礼申し上げます。
さて、総会において3期目の幹事長を仰せつかりました。過去2期、力不足でご迷惑
をおかけしましたが、クラブ運営活性化のため1年間務めさせて頂きます。
多勢の方から様々な活性化施策の提案を頂いています。会員の皆さんのご協力を頂き
つづ、一生懸命取り組みますのでよろしくお願ひ致します。

中澤 豊和

岡田クラブだより

平成14年 6月

梅雨のこの頃、暑い日が続いていますが会員の皆様さまにはご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

クラブだよりの発行が今期2回目で、皆様にお届けするのが遅くなりましたがクラブ近況をご報告します。

冒頭から、残念ですが悲しい訃報を報告します。

初代の我がバスケットチームを指導していただきました「岡田先生」が平成13年暮れ逝去されました。詳しくは「先生を偲んで」の寄稿をご覧ください。また、当クラブで運営にご協力いただいた27期生の「岡田 博文」さんが平成14年5月、40代の若さでご逝去されました。ご両名に対し謹んで哀悼の意を捧げご冥福をお祈りいたします。

熊本でのインターハイ出場を10年ぶりにかざった現役チームは、2年連続出場

を目指し厳しい練習に耐え県大会に臨みましたが、健闘は無く準決勝で破れ、2年連続県制覇はなりません。選手諸君の頑張りを讃えたいと思います。

◎長野県高等学校総合体育大会・バスケットボール競技会

1. 日時 平成14年5月31日～6月2日
2. 場所 松本市 松本平広域公園体育館等
3. 結果

(1)男子	1回戦 長野吉田高校	111	—	49	木曾
	2回戦	102	—	71	上田豊谷
	準々決勝	81	—	76	長野日大
	準決勝	77	—	86	東海大三
	3位決定 (北信越大会出場)	108	—	87	岩村田
(2)女子	1回戦 長野吉田高校	69	—	42	伊那北
	2回戦	76	—	56	岩村田
	準々決勝	46	—	63	伊那南生

◎北信越高校総合体育大会・バスケットボール競技会

平成14年6月15日・富山市

1回戦 長野吉田高校 81 — 92 金沢工(石川)

長野県バスケットボール協会

1. 長野県総合選手権 (平成13年11月・上田市)

2回戦	吉田クラブ	108	—	64	篠ノ井ク
9回戦		98	—	69	箕輪ク
準々決勝		72	—	43	飯田ク
準決勝		57	—	82	信州大学
三位決定		100	—	73	須坂ク

2. 長野県クラブバスケットボール選手権 (平成14年1月・伊那市)
県選手権3連覇達成

2回戦	吉田クラブ	113	—	42	篠ノ井ク
3回戦		85	—	60	ベンチャーズ
準々決勝		80	—	59	飯田ク
準決勝		64	—	54	豊科体協スカイアーツ
決勝		78	—	52	すずらんクラブ

3. 北信越クラブ選手権 (平成14年2月・福井市)

1回戦	吉田クラブ	45	—	88	砺波ク(富山)
-----	-------	----	---	----	---------

会費納付のご案内

会員の皆様には、毎年多額のクラブ会費を納めて頂きありがとうございます。
 検印に納めていただきました会費は、クラブの運営、現役の強化費、クラブチーム
 の補助金に使わせて頂いております。
 多額で恐縮ですが年に一度、クラブ活性化のためご理解頂きご協力をお願い致します

記

1. 納入金額 8,000円(第42回以降の会費)
5,000円(第43回以降の会費)
2. 納入方法 (1)同封の郵便振替用紙により郵便局に納めて頂く。
(2)下記口座へ振り込んで頂く。
・八十二銀行長野市役所支店
・普通預金 108-481
・長野吉田バスケットボールクラブ 宛て
(3)現金で役員に渡す。
3. その他 既に本年度会費を納入頂いた人には振替用紙が入っていません
4. 会費納入者 (平成14年5月末現在)
振込み、行き違いにより漏れましたらご容赦願います。

大沢 卓樹	柳田 隆雄	石井 担三	戸津 宗雄	藤江 勇	勇 勇	米沢 弘行
小林 舞多	沢沢 隆雄	石井 武人	戸津 丸山	戸谷 利男	米沢 羽鳥	弘行 隆雄
小林 和夫	柳田 隆雄	石井 武人	戸津 丸山	戸谷 利男	米沢 羽鳥	弘行 隆雄
藤村 勝利	石川 勇治	石川 勇治	小林 敬一	山本 良一	菅野 政治	菅野 政治
藤村 千枝	白谷 秀明	白谷 秀明	水崎 正	佐藤 良幸	菅野 信一	菅野 信一
竹内 孝	山下 秀明	山下 秀明	小松 正	高池 良幸	菅野 信一	菅野 信一
中沢 金治	山崎 秀明	山崎 秀明	菅野 正	菅野 正	菅野 正	菅野 正
坂田 正一	坂田 正一	坂田 正一	坂田 正一	坂田 正一	坂田 正一	坂田 正一
伊藤 俊雄	伊藤 俊雄	伊藤 俊雄	伊藤 俊雄	伊藤 俊雄	伊藤 俊雄	伊藤 俊雄
柳田 基文	柳田 基文	柳田 基文	柳田 基文	柳田 基文	柳田 基文	柳田 基文
北村 昌之	北村 昌之	北村 昌之	北村 昌之	北村 昌之	北村 昌之	北村 昌之
藤田 昌之	藤田 昌之	藤田 昌之	藤田 昌之	藤田 昌之	藤田 昌之	藤田 昌之